

生分解性ポリマーを併用した 細粒土混入バラストの保守方法

軌道・路盤研究室

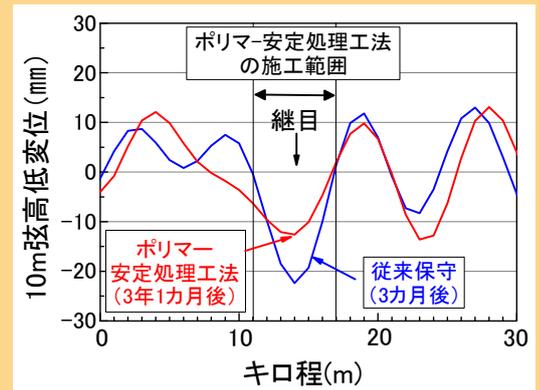
- ◆ 噴泥が生じている経年劣化したバラスト区間の沈下急進箇所に有効です。
- ◆ 通常につき固め保守時に補修材を注入することで沈下抑制効果を発揮します。

□ 概要 噴泥の生じたバラスト軌道は沈下進みが大きくなりますが、タイタンパを用いたつき固め保守の際に、生分解性ポリマーを併用することで劣化したバラストを安定処理し、つき固め保守効果を大きく改善することができます。



補修材

安定処理したバラスト



施工前後の高低変位

バラストの造粒化工法

軌道・路盤研究室

- ◆ 経年劣化したバラスト区間の沈下急進箇所に有効です。
- ◆ 造粒化することで、通常につき固め保守後の沈下抑制効果を発揮します。

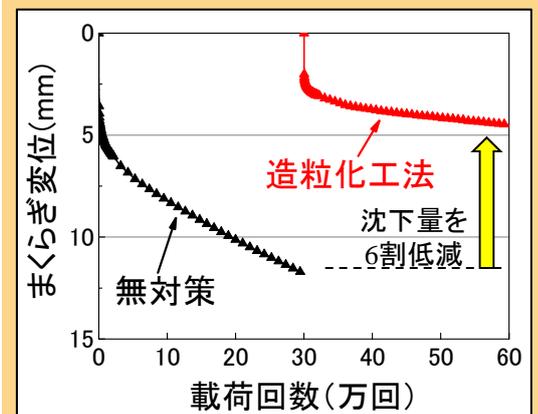
□ 概要 破碎・細粒化が進行したバラストにセメント系のグラウトを浸透させて、硬化した後に破碎して造粒化することで、バラストの粒子を再形成して支持力を回復させ、つき固め保守効果を大きく改善することができます。



造粒化したバラスト



施工手順



まくらぎの沈下量の比較